

2023-2024 年度

第 2570 地区

行田さくらロータリークラブ週報



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー第 2570 地区ガバナーテーマ

「希望を語ろう -We are Rotary, together-」

ガバナー 高丹 秀篤

会長方針

ロータリーを学ぼう -Rotary Re skilling-

会長 鈴木 敬一郎

会長 — 鈴木 敬一郎
副会長 — 阿部 秀二郎
幹事 — 早崎 敬
事務局 — 埼玉県行田市行田 5-10
スリーハートビル 3F
電話 — 048 (564) 3000
例会日時 — 火曜日 12:30~13:30
例会場 — ホテルガーデンパレス
熊谷市佐谷田 3248 番地
電話 — 048 (525) 7777



第 2316 回 (8 月 29 日) 例会報告

- 点 鐘 鈴木敬一郎会長
- ロータリーソング 奉仕の理想
- 4つのテスト
- 来訪者紹介
読売新聞東京本社 熊谷支局 佐藤秀憲 様
第 2 5 7 0 地区 青少年交換学生
チェン ガイウン さん(C l e o)
- 挨拶
第 2 5 7 0 地区 青少年交換学生
チェン ガイウン さん(C l e o)
- 会長報告 鈴木敬一郎 会長
- 幹事報告 早崎敬 幹事
- 出席報告 橋本恭一 委員長
- ニコニコ報告 山岸泰輔 委員長
- 委員会報告
親睦・家族委員会 江口親睦・家族委員長
「夏季旅行について」
- 本日の卓話
卓話者紹介 公共イメージ委員会
中村重継 委員長
卓話
読売新聞東京本社 熊谷支局 佐藤秀憲 様
「基礎から分かるイラン講座」
イランとはどういう国か！
- 謝辞 鈴木敬一郎 会長
- 点鐘 鈴木敬一郎 会長

会長報告



鈴木敬一郎 会長

本日は 読売新聞熊谷支局支局長 佐藤 秀憲 様の卓話です。よろしくお願いいたします。

さて、今月の会員増強・新クラブ結成推進月間に関連する話をさせていただきます。RI 会員増強委員会から、若い会員を迎え入れるにはという題の文書が 2018 年 2 月にリリースされています。会員増強のためには若い職業人を私たちが理解することが必要です。

「若い人に魅力を感じてもらおうクラブになるには？若い職業人は、クラブに新しい考え方、専門知識、活力をもたらしてくれます。皆さんのクラブでは、若い職業人にアプローチし、彼らのニーズを把握していますか？皆さんのクラブはこのような若い職業人にとって魅力があるでしょうか？また、若い職業人の参加を促し、ロータリーのメリットを伝える方法を知っていますか？」と問いかけています。

さらに、社会で活躍する若きリーダーたちのことをこう言っています。最近では起業や事業を通じて社会をけん引し、地域活性に貢献している若い世代が増えています。未来の可能性を秘めた若きリーダーたちの

中には、異業種間交流や社会貢献に関心を抱いている人が少なくありません。ロータリー入会の資格を十分に備えたこれら若い世代をクラブに迎え入れることは、ロータリーとクラブの未来にとっての必須課題です。しかしそのためには、まず相手をよく理解する必要があります。

テクノロジーの進化のおかげであらゆるものを自分用にカスタマイズでき、何でも手に入る現代で、モノを所有するだけでは物足りないと感じる若者は多くいます。また今日の世界では、ニュース、テキストメッセージ、SNS 投稿で新しい情報が次々と舞い込んできます。若い世代にとっては、これが日常となっています。テクノロジーと文化的転換により、若い人は欲しいものをすぐに手に入れ、自分用にカスタマイズする、いわば「自分流」の生活スタイルに従うことに慣れていきます。

しかしその一方で、人とのつながりも求めています。自分より経験のある同業種や異業種の人たちとつながり、新しいことを学びたいと考えています。新しい体験を渴望し、自分の持てる力を生かして社会に役立つチャンスを探しています。

そこに共通するのは「体験の追求」。それは、体験を通じて地域社会や世界のために役立ちたいという思いです。若い世代は情熱を注ぐことのできる何かを求めています。地域社会とつながり、その発展に貢献し、経験豊かな人たちとの交流を通じて自分の可能性を広げたいと望んでいます。「それができるのがロータリーです。」と彼らに伝えなければなりません。

幅広い年代と多業種の会員が所属するロータリーでは、社会的な肩書や職業が何であれ、みんなが仲間となって友情を深め、地域社会のために一緒に活動します。伝統と革新が共生し、信頼と尊重の心で世代をつなぐのがロータリーです。

批判を恐れず言ってしまうと、ロータリアンから見たロータリーと、外部の人から見たロータリーの間にはギャップがあると思います。残念ながら、ロータリーが排他的だと思っている人が少なくないそうです。

若い世代の職業人をより多く迎え入れるには、まずロータリーに対するイメージを変えなければなりません。ロータリーが今後も重要性をもった団体であり続けるには、現代という時代に共有される文化の中でロータリーを考える必要があります。ロータリーは現代の組織であり、今も社会的変化を生み続けているので

す。

クラブの現状を見てみましょう。ロータリーならではの体験をクラブで味わうことができますか？ダイナミックで活気がありますか？会員は満足していますか？不平や不満の声が出ていませんか？仲間に迎え入れたい人はクラブに親近感を抱いていますか。「若い世代が入会しない」「入会してもすぐに退会してしまう」という場合、現代にそぐわない慣習が原因かもしれません。

時代の変化に敏感になることが大切です。運営方法を定期的に見直すことは、どんな組織にとっても重要なことです。もちろん、会員が満足していることや誇りとしていることを無理に廃止する必要はありません。会員の情熱と誇りは、クラブの生命線とも言えます。

その一方で、会員が不満に感じていることや、入会者を遠ざけてしまうような慣習がある場合は、会員満足度調査などを実施し新しい方法を模索していくことも必要ではないでしょうか。

以上、会長報告でした。ありがとうございました。

幹事報告



早崎敬 幹事

皆様こんにちは、これより幹事報告をさせていただきます。

8月27日嵐山国立女性教育会館にて青少年交換プログラム第1回オリエンテーション開校式が行われ五十幡ガバナーエレクト、鈴木会長、春日カウンセラー、青少年交換委員会高橋委員長、川野委員が出席されました。

次回の例会は9月3日ゆかた例会となります。

この後の委員会報告で江口委員長よりご案内があると

思いますので出席されます会員の皆様、宜しくお願い致します。

以上で幹事報告を終わります。ありがとうございました。

出席状況報告

橋本恭一会員

会員数	出席対象者	出席者	メーキャップ	出席率
53名	48名	31名	0名	66%

ニコニコ報告

山岸泰輔委員長

鈴木会長 読売新聞熊谷支社佐藤様、本日の卓話よろしくお祈り致します。

早崎幹事 クレオさんとようこそ！お会いできるのを楽しみにしていました。東京読売新聞佐藤様、卓話よろしくお祈り致します。

細井ポストガバナー 本日は佐藤様宜しくお願い致します。クレオさんようこそ！

松本健一会員 残暑の中まだ熱中症に気をつけてください。またコロナがずいぶんの量で流行っているみたいなので、両方ともに気をつけましょう

神田会員 クレオさんいらっしゃいませ

新井会員 読売新聞社 佐藤様本日は卓話楽しみにしておりました。よろしくお祈り致します。青少年交換学生クレオちゃんようこそ！1年間の交流を楽しんでください。

橋本恭一会員 「八方池は 二度目なれど 高き峰 雲隠れしも ルシボシヤンマいず」

田島会員 クレオさんようこそ日本へいらっしゃいました。おおいに楽しんでください。読売新聞佐藤様本日の卓話よろしくお祈り致します。

阿部会員 読売新聞社、佐藤様、本日の卓話楽しみにしておりました

春日会員 クレオさんようこそ！読売新聞佐藤様本日は宜しくお願いいたします。

五十幡会員 本日は記者卓話例会、読売新聞の佐藤支局長、楽しみにしておりますので宜しくお願い致します。青少年交換留学生のクレオさん、ホストファミリーの福田さん、ようこそ行田さくら RC にお越しいただきました。充実した交換プログラムになることをお祈りしています。

川野会員 クレオさんようこそ日本へ。皆さんクレオをよろしくお祈り致します。

高橋会員 クレオちゃんようこそ行田さくらロータリークラブへ！皆様1年間どうぞ宜しくお願い致します。

宮本会員 クレオさんようこそ、日本を思いっきり楽しんでください。Enjoy your Japan！

田口会員 暑さに負けず頑張りましょう

佐藤様宜しくお願い致します。クレオさんようこそその同文として、田邊会員、三島会員、矢澤会員、渡辺会員、島崎会員、倉持会員、大谷会員、田村会員、長島会員、江口会員、飯塚会員、松岡会員、中村会員、山岸会員、小澤会員。

本日のご奉仕額 30,000 円となります。有難うございます。

青少年交換学生 挨拶

チェン ガイウン さん(Cleo)



卓話者紹介

公共イメージ委員会 中村重継委員長



卓話

読売新聞東京本社 熊谷支局 佐藤秀憲 様
「基礎から分かるイラン講座」
イランとはどういう国か！

